

会場内におけるトイレ施設について

経済産業省商務・サービスグループ

万博会場内トイレ及び若手建築家プロジェクトの全体像

- 会場内のいくつかの施設（トイレや休憩場等）では、若手建築家に設計業務を委ね、単に価格が低廉だけでなく、デザイン性も兼ね備えたものとなるような仕様で発注。
- 会場内の公衆トイレは約 40 箇所を万博協会が整備予定。うち、若手建築家が設計したトイレは **8 箇所**。（5 箇所は既に落札／契約済み、3 箇所のみ入札中）
- 最小規模のトイレが約0.7億円、最大規模（便器数50～60器）が約 2 億円となる。（解体撤去費込み、税込み）
- 不調不落対応として再度入札を行った場合においても、再発注時の予定価格をほぼ同額に据え置き、予算の増加を抑制している。

若手建築家業務対象施設配置図（協会HP）



若手建築家設計トイレ施設一覧

トイレ		公告日	予定価格	応札価格	結果	落札者
トイレ 1	1回目	2023年8月4日	約0.7億円	—	不調	—
	2回目	2023年12月15日	約0.7億円	—	—	—
トイレ 2		公告日	予定価格	応札価格	結果	落札者
	1回目	2023年6月2日	約0.7億円	—	不落	—
	2回目	2023年10月27日	約0.7億円	約0.7億円	落札	シライテック株式会社
トイレ 3		公告日	予定価格	応札価格	結果	落札者
	1回目	2023年6月2日	約1.9億円	—	不調	—
	2回目	2023年9月8日	約1.9億円	約1.9億円	落札	日本土木建設株式会社
トイレ 4		公告日	予定価格	応札価格	結果	落札者
	1回目	2023年8月4日	約1.1億円	約1.1億円	落札	株式会社カネトモ
トイレ 5		公告日	予定価格	応札価格	結果	落札者
	1回目	2023年6月2日	約1.9億円	—	不落	—
	2回目	2023年12月19日	約1.9億円	—	—	—
トイレ 6		公告日	予定価格	応札価格	結果	落札者
	1回目	2023年6月2日	約1.9億円	約1.8億円	落札	株式会社東建設
トイレ 7		公告日	予定価格	応札価格	結果	落札者
	1回目	2023年6月2日	約1.1億円	—	不落	—
	2回目	2023年9月8日	約1.1億円	約1.1億円	落札	株式会社セットアップ
トイレ 8		公告日	予定価格	応札価格	結果	落札者
	1回目	2023年8月4日	約1.1億円	—	不落	—
	2回目	2024年1月26日	約1.1億円	—	—	—

万博会場内トイレと一般公衆トイレの平米あたりの単価の比較

- 2016年～22年の公衆トイレ施設の平米単価：約74万円ー①
- 大阪府が2020年～21年に整備した公衆トイレの平米単価の例：約81万円・約110万円ー②
- 若手建築家を活用したトイレ施設（約2億円で契約したもの）の平米単価：約58万円・約70万円ー③

① 一般的な公衆トイレ施設の平米単価（16～22年）・・・約74万円

② 大阪府下で整備された公衆トイレの平米単価の例

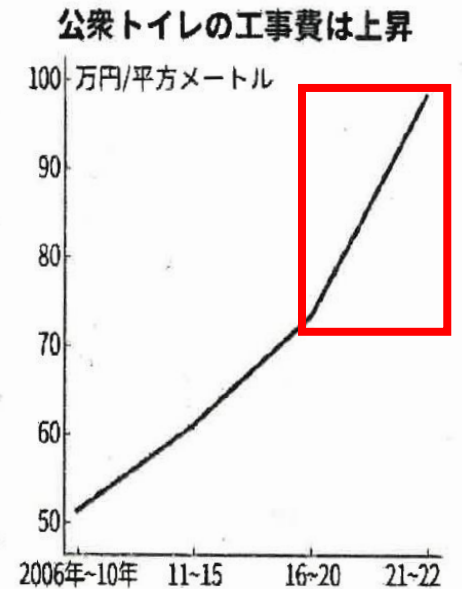
- 2020年 服部緑地 子供の楽園南便所 → 約81万円
- 2021年 大阪観光トイレ → 約110万円

③ 若手建築家を活用したトイレ施設（約2億円で契約したもの）の平米単価

- トイレ3 工事契約金額 約1.7億円 ÷ 想定延床面積 約250㎡ → 約70万円
- トイレ6 工事契約金額 約1.7億円 ÷ 想定延床面積 約286㎡ → 約58万円

<参考> 既に契約済みのトイレ施設（5箇所）の平米単価

・5箇所合計	工事契約金額	約6.0億円	÷	想定延床面積	約1,000㎡	→	約60万円
・トイレ2	工事契約金額	約0.6億円	÷	想定延床面積	約95㎡	→	約66万円
・トイレ3	工事契約金額	約1.7億円	÷	想定延床面積	約250㎡	→	約70万円
・トイレ4	工事契約金額	約1.0億円	÷	想定延床面積	約228㎡	→	約44万円
・トイレ6	工事契約金額	約1.7億円	÷	想定延床面積	約286㎡	→	約58万円
・トイレ7	工事契約金額	約1.0億円	÷	想定延床面積	約139㎡	→	約72万円



【出展】日経新聞（2024/2/8）より抜粋

- ※ 若手建築家を活用したトイレ施設の便器は、全て企業協賛により提供。
- ※ トイレの工事契約金額は、いずれも解体撤去費込み・税抜。

経緯

- 2022年8月、若い世代の活躍・飛躍のきっかけとするため、博覧会協会において、トイレや休憩所等の20施設の設計業務について、20人の今後の活躍が期待される若手建築家を公募型プロポーザルにて募集・決定。
- 決定した若手建築家20人に対して、工事費や解体費用を含めた予算額を提示し、予算額を上限とした設計を発注。2023年3月より順次実施設計に着手。
- また、入札の不調・不落を避けるため、2023年1月に施工者向けの説明会を実施。アンケート（32社回答）を実施し、受注意欲、受注可能な工事発注方式などの意向確認を実施。アンケートや個別ヒアリングの結果を踏まえ、受注意欲のある施工者が入札に参加できるよう、以下の方式で工事発注を実施。

<工事発注方式>

【入札方式】

- 施設毎に一般競争入札（最低価格落札方式）とする。（複数施設の入札参加も可）

【契約内容】

- 建設工事の請負契約と解体撤去工事の請負契約を同時に締結する。

【発注時期】

- 20施設を2グループに分け、6月に10施設、8月に10施設の公募を実施する。（万が一不調、不落となっても、工事着手までに複数回の入札が可能）

<スケジュール>

